

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
〇社研究開発・本社ビル

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.8
Q1 室内環境			0.40					3.6
1 音環境		2.6	0.15	-	-	-	-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1	暗騒音レベル	3.0	1.00	3.0	-	-	-	
	設備騒音対策	-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音		2.2	0.40	-	-	-	-	
1	開口部遮音性能	3.0	0.60	3.0	-	-	-	
2	界壁遮音性能	1.0	0.40	3.0	-	-	-	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	3.0	-	-	-	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
2 温熱環境		3.1	0.35	-	-	-	-	3.1
2.1 室温制御		3.3	0.50	-	-	-	-	
1	室温設定	3.0	0.38	3.0	-	-	-	
2	負荷変動・追従制御性	-	-	-	-	-	-	
3	外皮性能	3.0	0.25	3.0	-	-	-	
4	ゾーン別制御性	4.0	0.38	3.0	-	-	-	
5	温度・湿度制御	-	-	-	-	-	-	
6	湿度制御	-	-	-	-	-	-	
7	待機空調に対する配慮	-	-	-	-	-	-	
8	監視システム	-	-	-	-	-	-	
電動可変ルーバー、バルコニーの庇効果、腰窓 室外機単位ごとに冷暖選択可能								
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	-	-	
3 光・視環境		4.0	0.25	-	-	-	-	4.0
3.1 昼光利用		2.8	0.30	-	-	-	-	
1	昼光率	2.28程度	0.60	3.0	-	-	-	
2	方位別開口	3.0	-	3.0	-	-	-	
3	昼光利用設備	アトリウムのハイサイドライト	0.40	3.0	-	-	-	
3.2 グレア対策		5.0	0.30	-	-	-	-	
1	照明器具のグレア	-	-	-	-	-	-	
2	昼光制御	自動制御縦ルーバー	1.00	3.0	-	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	-	-	
1	照度	3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2	照度均等性	-	-	-	-	-	-	
3.4 照明制御		5.0	0.25	3.0	-	-	-	
2制御エリア/スパン単位で明るさ感センサーで制御可能								
4 空気環境		4.5	0.25	-	-	-	-	4.5
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	-	-	
1	化学汚染物質	F☆☆☆☆ 100%	1.00	3.0	-	-	-	
2	アスベスト対策	-	-	-	-	-	-	
3	ダニ・カビ等	-	-	-	-	-	-	
4	レジオネラ対策	-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		3.6	0.30	-	-	-	-	
1	換気量	30m3/h・人	0.33	3.0	-	-	-	
2	自然換気性能	3.0	0.33	3.0	-	-	-	
3	取り入れ外気への配慮	給気は汚染源がない方向で、かつ排気と6m以上の離隔	0.33	3.0	-	-	-	
4	換気計画	-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.5	0.20	-	-	-	-	
1	CO ₂ の監視	手動による計測、監視マニュアルの整備	0.50	-	-	-	-	
2	喫煙の制御	喫煙スペース設置	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	4.0
1 機能性		4.1	0.40	-	-	-	-	4.1
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	-	-	
1	広さ・収納性	6.1~8.3㎡/席(将来)	0.33	3.0	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応	OAフロア	0.33	3.0	-	-	-	
3	バリアフリー計画	全館バリアフリー	0.33	3.0	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.3	0.30	-	-	-	-	
1	広さ感・景観	CH2800	0.33	3.0	-	-	-	
2	リフレッシュスペース	リフレッシュ+喫煙室+自販機	0.33	3.0	-	-	-	
3	内装計画	照明計画との一体化、CGシュミレーション	0.33	3.0	-	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	-	-	
1	維持管理に配慮した設計	防汚性、外部金属メッキ	0.50	-	-	-	-	
2	維持管理用機能の確保	清掃員控入室、清掃道具、SK、セキュリティー	0.50	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		4.2	0.31	-	-	-	-	4.2
2.1 耐震・免震		4.8	0.48	-	-	-	-	
1	耐震性	耐震性能50%増し	0.80	-	-	-	-	
2	免震・制振性能	免震構造	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.33	-	-	-	-	
1	躯体材料の耐用年数	大規模補修不要期間65年	0.23	-	-	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	仕上げ材グレード	0.23	-	-	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	仕上げ材グレード	0.09	-	-	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレス製	0.08	-	-	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水: VLP、HIVP、給湯: SUS、排水: VP系 等	0.15	-	-	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔		0.23	-	-	-	-	

2.3 適切な更新							
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信多様化、浸水配慮	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.9	0.29	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	4000	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	研究ゾーン:(133+21)/675=0.228	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			4.2	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	躯体打ち込み無し	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	仕上げ材被害無し	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材被害無し	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	機器を細かく分散していることで、更新時のバックアップ可能	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		良好な景観、調和する形態、緑地、シンボル性	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30	-	-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	施設利用者の設計プロセス参加	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	中高木、芝生、水盤、舗装路抑制	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制		PAL 252	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	自然採光、自然換気	5.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=29.5	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			5.0	0.20	-	-	5.0
4.1	モニタリング	e-watchingによるモニタリング。	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	エネルギー消費目標を設定し、管理提案を行う	5.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.1
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.3	0.63	-	-	4.3
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	電炉鋼材 高炉セメント	5.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生加熱アスファルト混合物 再生骨材利用 軽量発泡資材 木	5.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	スライディングウォール	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	接着材、シーリング材	5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火なし	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材	ノンフロン断熱材	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	4.3
1 地球温暖化への配慮		CO2排出 25%以上削減	4.9	0.33	-	-	4.9
2 地域環境への配慮			4.7	0.33	-	-	4.7
2.1	大気汚染防止	燃焼機器なし	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	気象庁風向データ把握、空冷HPチラーへの噴霧	5.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	充分な駐車・駐輪場、屋根付駐輪場、建屋と直結	5.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	分別倉庫、適切なレイアウト、ゴミの減容化	4.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの項目の過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	